

使用材料一覧

一般名称	品名	荷姿・入目	備考
プライマー	タックコートK-W	12kg/セット	エポキシ樹脂系プライマー
防水材兼高耐久性ウレタン (平場用)	DPワンガード・ゼロ	18kg/缶	ウレタン防水材 平場用 JIS A 6021 高伸長形(旧1類)
防水材兼高耐久性ウレタン (立上り用)	DPワンガード・ゼロ 立上り用	18kgおよび8kg/缶	ウレタン防水材 立上り用 JIS A 6021 高伸長形(旧1類)
骨材グリップ用ウレタン	DPワンガードNEO	18kg/缶	高耐久1液ウレタン樹脂
仕上げ材用塗料	Dトップ700	14kg/セット 7kg/セット	アクリルウレタン樹脂塗料
	Dトップ700遮熱	14kg/セット	遮熱用アクリルウレタン樹脂塗料
環境対応型硬化促進剤	DPワンガード専用促進剤 標準タイプ	3.3kg/ポリビン	DPワンガード専用硬化促進剤
	DPワンガード専用促進剤 速硬化タイプ		
副資材	タックコートK-W硬化促進剤	1kg/缶	駐車場用途硬化促進剤
	フィライト	0.5kg/箱	微骨材
	Gサンド4号	25kg/袋	天然石
	タックコートK-W用セメント	20kg/箱(4kg×5袋)	接着力保持用セメント

注意事項

施工前の下地の状態

- ①下地の乾燥は十分に行い、含水率は5%以下であることを確認する。
 - ②レイトンスやエプロレッセンスは床研磨機にて除去を行い、完全に取除いておく。
(別途工事)
レイトンスを除去した場合や不陸はウレタンにて表面を平滑に仕上げる。(別途工事)
 - ③クラックは、メッシュを用いた増し塗り処理をする。(必要に応じてUカット処理をする)(別途工事)
 - ④欠損部は専用樹脂にて処理する。(別途工事)
 - ⑤出、入隅部の面取りを確認し、不十分な場合は、(出隅部は)サンダー掛け(入隅部は)通りよく直角とする。(別途工事)
 - ⑥凹部、突起部は平滑にしておく。(別途工事)
- ※上記下地処理は、現場により変更することがあります。

維持管理

- ①定期的に屋根や防水面の清掃(特にお客様車両タイヤの持ち込みによる小石や砂類の清掃除去)を行ってください。
特に排水口回りと隅の部分の泥、枯葉等を良く除去してください。
- ②定期的に表面状態の点検を行ってください。異常が認められる場合は防水施工業者に連絡して補修してください。防水材料及び防水工事に原因が無い場合は有償になります。
- ③駐車場利用に支障のない防水層のフクレ、浮きは防水保証対象外となります。
なお、防水施工業者以外の業者が復元補修の工事を行った場合には、以後、本保証書に基づく元請業者、防水施工業者、材料供給者の責任は全て免責となります。

使用上の注意

- ①駐車場防水層の表面が雨、水等で濡れていると滑りやすいので注意してください。
- ②駐車場防水層の上では火気を使用しないでください。たばこの吸いからの投げ捨て、

- ③花火等しないでください。
- ④駐車場防水層の上に有機溶剤、ガソリン、不凍液などをこぼさないでください。
防水層が軟化し、ふくれ、剥がれを生じる恐れがあります。
- ⑤駐車場防水層の上で重い箱などを引きずったり、角材、金属材料、工具などを落下させないでください。
防水層に剥離、損傷を生じる危険があります。
- ⑥駐車場防水層の上にテーブル等脚のついた物を置く場合は、脚をゴムキャップ、布等で覆ってください。
角のある重い物を置く場合は下にゴム板等を敷いてください。カッターなどの刃物、鋭利な先の尖った物を落とさないでください。
ゴルフ等の練習をしないでください。防水層に剥離、損傷を生じる危険があります。
- ⑦駐車場防水層の上タイヤチェーン、スパイクタイヤは使用しないでください。防水層を損傷する危険があります。
- ⑧駐車場防水層の上で犬、鶏などの動物を飼わないでください。防水層が傷む危険が大了。
- ⑨駐車場防水層に穴をあける、貫通させる、また、駐車場防水施工箇所から設備機器、架台、配管等を取り外す等の工事は必然的に接面する防水層からの漏水危険が伴います。必ず表記防水工事業者に事前相談いただき、御用命頂くようお願いいたします。
- ⑩ブルドーザー等の重機による除雪は防水層を著しく傷めるので厳禁です。
- ⑪除雪の用具は樹脂製角型のスコップが最適です。金属製のもの、または樹脂製でも先が刃物状になったもの、尖ったもの等は、防水層を傷める危険があります。
- ⑫駐車場防水層上の車の走行は、事故の防止と摩耗損傷の低減のため、制限速度を時速8km以下としドリフト走行の禁止、急発進等、故意による暴走運転の禁止の厳守徹底を図ってください。
- ⑬クーリングタワー防藻剤、殺菌剤等の薬剤は、種類によっては防水層を損傷します。ご注意ください。

免責事項：シーカ製品の施工および使用に関する推奨その他の情報は、当社の現時点での知識および経験に従ったものであり、通常の条件下で当社の推奨に従い適切に保管・処理・施工されることを前提としております。実際には、材料・接合面・現場の条件がそれぞれ異なるため、ここに記載されている情報、書面による推奨その他のアドバイスは、商品性や特定目的への適合性について保証するものではなく、また法的関係に基づく責任を生じさせるものではありません。ユーザーは、シーカ製品がユーザーの意図する施工方法および目的に適しているかどうかを、必ず事前に確認してください。特に、施工、施工管理及び施工に関する報告書の作成はユーザーの責任において行うものであることにご留意ください。当社は、第三者の財産権を尊重し、製品の特性を変更する権利を有します。すべての注文は、当社の最新の販売・納品条件に従って受注します。ユーザーは常に、使用する製品のプロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版をご参照ください。プロダクトデータシート及び実施する施工方法についての施工要領の最新版は、ご請求いただければ当社がご提供いたします。

2023年4月1日よりシーカグループのディックブルーフィンギング株式会社は日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせはホームページのブランドサイト
<https://www.dpcdpc.com/>
にてご確認のうえ各地域のオフィスまでお願い申し上げます。

2024年3月版
(24.3月現在) 24.03.500 SJ

環境配慮型 ウレタン・高耐久ウレタン複合防水工法

コンポUU-E

環境配慮型 ウレタン+高耐久ウレタン複合防水工法

コンポUU-E工法

耐久性と経済性、意匠性を兼ね備えた工法です。

コンポUU-E工法の特徴

1. 優れた耐久性

コンポUU-E工法の主要材料であるDPワンガード・ゼロは高伸長形のウレタン防水材でありながら、高強度形ウレタンに近い強度と伸びを実現しているため、下地のひび割れなどに対する追従性や外部からの応力に耐えうる性能を有しています。

2. 優れた耐摩耗性

コンポUU-E工法は、仕上げ層に高硬度のウレタンを使用しているため、優れた耐摩耗性を有しています。

3. 環境に配慮した材料

コンポUU-E工法の主要材料であるDPワンガード・ゼロ及びDPワンガードNEOは、健康に影響を与えるとされる特定化学物質を排除し先進の環境対応を実現しています。

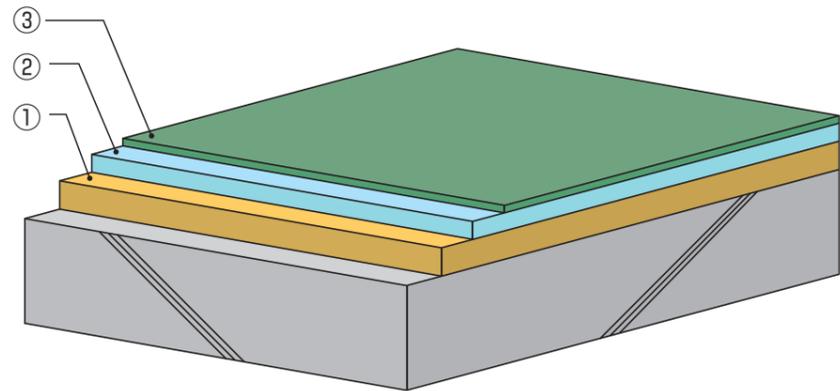
4. 安定した防水性

コンポUU-E工法の防水層兼耐久層であるDPワンガード・ゼロ及びDPワンガードNEOは、1液性ウレタン防水材であることから均質な物性を発現し、安定した防水性を得ることができます。

5. 工期の短縮

コンポUU-E工法の主要材料であるDPワンガード・ゼロ及びDPワンガードNEOは、1液型であるので機械施工や圧送施工が可能で、ウレタンの硬化時間の調整が可能なので工期の短縮に寄与します。

構造概念図



コンポUU-E工法は、下地から

①高強度ウレタン層（防水層兼耐久層）防水層 ②高強度ウレタン層（防水層兼耐久層） ③仕上げ層の3層で構成されています。

■ 駐車場

仕様名	用途	工程1	工程2	工程3	工程4	工程5	工程6	工程7
UU-E1	駐車場	タックコートK-W +タックコートK-W硬化促進剤 +普通セメント 0.2kg/m ²	DPワンガード・ゼロ 2.0kg/m ²	DPワンガード・ゼロ 1.5kg/m ²	DPワンガードNEO 0.3kg/m ²	Gサンド4号 0.5kg/m ²	DPワンガードNEO 0.5kg/m ²	Dトップ700 0.2kg/m ²

※スロープは、コンポER工法「C-20S」を使用してください。

※工程1は、タックコートK-W 1セット（12kg）に対して、タックコートK-W硬化促進剤1缶（1kg）、普通セメント3kgを添加して使用して下さい。

■ 立上り

仕様名	用途	工程1	工程2	工程3	工程4
UU-E2 （立上り）	駐車場	タックコートK-W +タックコートK-W硬化促進剤 +普通セメント 0.2kg/m ²	DPワンガード・ゼロ 立上り用 1.3kg/m ²	DPワンガード・ゼロ 立上り用 1.3kg/m ²	Dトップ700 0.2kg/m ²

※工程2は、2回塗りになります。



■ コンポUU-E工法（高耐久仕様）の物性

工法	コンポUU-E工法		JIS A 6021 高伸長型 基準値
	防水層兼耐久層	高耐久層	
使用材料	DPワンガード・ゼロ （ウレタン防水材）	DPワンガードNEO （高耐久1液ウレタン樹脂）	
引張強さ (N/mm ²)	7.7	17	2.3以上
引裂強さ (N/mm)	32	65	14以上
破断時の伸び率 (%)	790	280	450以上
抗張積 (N/mm)	1220	—	280以上
硬度 JIS K 6253	75 (ショアA)	58 (ショアD)	—

※硬度の目安：（ショアA）値80が（ショアD）値30に相当します。

